

第3号様式

令和7年度 第5回東部公民館運営審議会会議録

(令和8年5月 作成)

- 1 開催日時 令和8年3月26日(木) 午後2時56分～午後4時44分
- 2 開催場所 東部公民館 音楽室
- 3 出席者
 - (1) 委員 大塚委員長、舟橋副委員長、加瀬委員、吉田委員、牧野委員、本間委員、今井委員
 - (2) 事務局 東部公民館長、三田公民館長、習志野台公民館長、飯山満公民館長、薬円台公民館長
- 4 欠席者
 - (1) 委員 蠣崎委員
 - (2) 事務局 なし
- 5 議題及び公開・非公開の別並びに非公開にあたっては、その理由
 - 公開 (1) 令和7年度 公民館事業報告(12/25～3/31)について
 - (2) 令和7年度 公民館事業評価シートについて
 - 非公開 (3) 社会教育関係団体の拠点変更(報告)について※非公開理由 船橋市情報公開条例第7条第2号の不開示情報(個人に関する情報)を取り扱うことから、同条第26条第2号に該当するため
- 6 傍聴人 なし
- 7 決定事項
 - 公開 (1) 令和7年度 公民館事業報告(12/25～3/31)について 承認
 - (2) 令和7年度 公民館事業評価シートについて 承認
 - 非公開 (3) 社会教育関係団体拠点変更(報告)について 承認
- 8 議事 次ページへ
- 9 資料・特記事項 次回 令和8年4月30日(木) 午後3時から
- 10 問合せ先 東部公民館 電話047-477-7171

令和7年度 第5回 東部公民館運営審議会
議事録

日時 令和8年3月26日（木）
午後2時56分～午後4時44分
会場 東部公民館 音楽室

午後2時56分開会

○事務局（東部公民館長補佐）

それでは、皆様おそろいですので、定刻前ではありますが、早速始めていきたいと思えます。第5回東部公民館運営審議会を始めさせていただきます。

会議に先立ちまして、資料の確認をお願いいたします。

事前にお送りさせていただきましたピンク色の表紙、「令和7年度第5回東部公民館運営審議会」、A4の冊子です。次に、本日机上に置きました中央公民館から東部公民館への活動拠点変更届、1団体になります。

大変申し訳ございません、資料の差し替えをお願いいたします。事前にお送りいたしました表紙の差し替えをお願いいたします。それと、資料の中身、8ページから12ページ、三田公民館の事業報告です。恐れ入りますが、こちらも差し替えとなりますので、よろしくをお願いいたします。

お手元、不足等ございませんでしょうか。

資料のうち、活動拠点変更届につきましては個人情報に関する情報が含まれておりますので、会議終了後に回収をさせていただきます。よろしくをお願いいたします。

それでは、東部公民館長、よろしくをお願いいたします。

○東部公民館長

年度末に当たりまして、まずは、委員の皆様、公民館運営審議会の委員の任期につきましては2年間ということで、令和8年、来月の4月26日までが任期となります。会議については、年度内の会議は今日が最終回となりました。更新の事務手続を進める中で、本間委員、今井委員につきましては、この任期限りでの退任ということで連絡を受けたところでございます。

続きまして、事務局、私どもの職員でございますが、昨日内示がございまして、お知らせさせていただきたいと思えます。

まず、三田公民館、海老根館長につきましては、習志野台公民館長に異動することになりました。後任には、西船橋出張所の滝口所長がお見えになる予定となりました。

続きまして、習志野台公民館でございます。習志野台公民館、畑館長につきましては、北部ブロックになりますが、二和公民館長に就くことになりました。後任については、先ほど申し上げた三田公民館長の海老根館長が習志野台公民館長に就くこととなります。

続きまして、飯山満公民館でございます。飯山満公民館、染井館長につきましては、こども発達相談センターの所長に着任することになりました。後任につきましては、市民協働課の佐藤善徳課長補佐がお見えになる予定でございます。

東部公民館でございますが、私、金子は、このたび役職定年を迎えるに当たり、館長を退任することになり、再任用ということで内示をいただきまして、市役所の職員課のほう

に異動することになりました。後任には、東部公民館の館長補佐であります杉本が館長に着任することになりました。

それから、事務局ですが、東部公民館事業担当の山田主査につきましては、このたび市役所の戸籍住民課のほうに異動することになりまして、後任には馬込衛生管理事務所の陶山副主査が着任することになりましたことを報告させていただきたいと思います。

内示の状態ではございますが、新年度に入りまして辞令交付という中で着任する予定でございます。

もしよろしければこの場で、これから審議が始まる前でございますが、本間さん、今井さんに一言ずつでも頂戴できればと思うのですが、いかがでございましょうか。

○本間委員

では、座って。何年ぐらいですか。

○東部公民館長

本間さんは2期4年です。

○本間委員

4年ですって。あそこもあそこも一緒の同期で、昔仕事をした仲間なんです。公民館のお仕事と審議委員のお声がかかってきて、「うん？ 何？」と思ったけれども、施設は地域との交流をやっていかなければいけないなと思っていたので、「では参加します」という感じでやらせていただきました。

昨日も同じ年齢の連中とご飯を食べていて、「『老人』という言葉を聞くと嫌でね」という話をしながら、「老人何とかというのがあるじゃない」、「そういえばそうだよね」なんて。働いていたからそういう感覚はなかったんだけど。

実は夏に肺にお水がたまって、すぐに行ったら、「即入院です。心不全の疑いがあるかも」と。「私、死んじゃうの」と思ったけれども、薬やら、全部検査したら、大丈夫でしたという形でよみがえりました。やっぱりもうそろそろ喜寿を迎えるので、いいかなと思って、お休みを。

園長も13年やっていたのと、千葉県の社会福祉協議会というのがあるんですけども、そこのお仕事もずっとやらせていただいていたので、ちょっとハードな仕事があったので、疲れがちょうど出たかななんて話になって。今は休んでいるんですけども、切りがいいかなと思って、12月ぐらいで退職という形にしました。時々来て、一応理事の職は残っているんで、年に4回ある理事会には必ず顔を出す形でしています。なので、まだまだいろいろと声がかかってくるのかなと思いながらやらせていただきました。

ここでいろいろな情報を得ていて、こういう感じだなというのは分かったので、今後も次の園長にお願いはして、声をかけていただいているので、よろしくお願ひしたいです。

やっぱり地域の公民館との交流が必要なので、特に薬円台はうちの近くなので、よろし

くお願いします。ありがとうございました。

○東部公民館長

ありがとうございます。

今井先生、お願いいたします。

○今井委員

前原中学校長の今井です。お世話になりました。このたび、年度末の人事異動に際しまして、退職となります。暫定再任用校長として前原中学校で3年間勤めたのですけれども、一応60歳で役職定年になるんですね。その後、暫定再任用ということでこちらでお世話になりました。その前は金杉台中学校という閉校した学校にもいたんですけれども、その前の三山東小のときに初めてこちらのほうでお世話になりまして、2回目でした。ちょうど校長研修会のスケジュールといつも重なってしまって、あまり出られなかったのが、本当に心苦しかったです。三山のときからお世話になった方たちもいらっしゃいますし、本当に地域のためにやってくださっている皆さん、学校のためにもやってくださっている皆さんと少しでも協力できたらよかったですけれども、なかなか出席できなかったのが本当に残念でなりません。

ぜひこの後も前原中学校をよろしくお願いします。公民館にも管弦楽部のポスターを貼っていただいております。今後ともよろしくお願いします。

○東部公民館長

ありがとうございます。

では、こちらのほうも一言ずつ。

○三田公民館長

三田公民館に2年間在籍しておりまして、初めて館長になったということで、大変緊張しながらの公運審、2年間過ごさせていただきました。ありがとうございました。

そして、次は習志野台公民館で、またお隣の席になりますので、来年度もぜひよろしくお願いします。

○習志野台公民館長

習志野台公民館、畑でございます。

私も3年、楽しくとっては何ですが、楽しく公運審の皆さんと過ごさせていただきました。ありがとうございます。

今年度は、習志野台公民館がトイレと配管の改修工事で休館だったのですけれども、私はジンクスがありまして、トイレの改修工事は3回目なのですが、トイレが新しくなると異動で、3回目もそうでした。やっぱりジンクスどおりなのだなと思いました。皆様、ありがとうございました。

これから二和公民館で、ブロックは変わりますが、何かございましたらお越しく下さい。北図書館もございますので。よろしくお願いいたします。

○飯山満公民館長

飯山満公民館の染井です。

1年で異動なので、短かったこともありますし、教育委員会というところが初めてだったので、緊張の連続でした。市長部局におりましたので、教育委員会という独特な雰囲気もあって、皆さんにご迷惑をかけたところもあったと思います。後任は市民協働課から来る佐藤という職員で、前に秘書課にいたので、皆さん会ったことがあるかもしれないのですけれども、よろしくお願いします。

○東部公民館長

佐久間さん。

○薬田台公民館長

私は異動がなく、引き続きまた来年度もよろしくお願いします。

○事務局（東部公民館長補佐）

このたび、金子館長が勇退されるということで、後を引き継ぐことになりました。基幹公民館としての勤務が初めてでしたので、いろいろ分からないことが多く、皆様にご迷惑をおかけしたと思います。引き続き来年度も温かい目で見守っていただけたらと思いますので、ぜひよろしくお願いいたします。

○事務局（東部公民館主査）

事務局を務めさせていただきました東部公民館の山田と申します。1年という短い間でしたが、お世話になりました。至らぬところもあったかと思いますが、私は生涯学習部の施設は3か所目で、大変勉強になりました。また戻ってこられるかどうか分かりませんが、ご縁がありましたら、またどうぞよろしくお願いいたしますと思います。お世話になりました。

○東部公民館長

最後になりますが、私もこの公民館で4年間勤めさせていただきました。着任中に改修事業があった中で、皆さんのご支援、ご協力をいただいたおかげをもちまして今日に至ることができ、本当に感謝申し上げます。

公民館運営審議会も、改修期間中は、地区館の公民館、習志野台でやったり、飯山満でやったりということで転々とした中でご審議いただいて、本当にご足労をおかけしたところがございますが、こういった静かな環境の中で審議会が開催できること、大変うれしく思っております。今後も引き続き運営審議会のほう、よろしくご指導をお願いいたします。

長くなりましたが、以上でございます。すみません、お時間をいただきましてありがとうございました。

○事務局（東部公民館長補佐）

皆さん、ありがとうございました。

それでは、引き続きまして、大塚委員長のほうからご挨拶を改めましてお願いできますでしょうか。

○大塚委員長

皆さん、こんにちは。今日、挨拶をすることになっていたのですが、委員の方、それから、館長の方、交代が全てにわたってされて、ご挨拶をいただきました。やはりサラリーマンというのは、必ず何年かたつと交代することはしょうがないんですけども、私も公民館さんにいろいろお世話になっていますが、本当に船橋の公民館の職員の皆さん、特に館長さんは、相当ご苦勞があったと思います。人をまとめるというのは大変なことだと思います。和やかに、明るく、つらいことがあってもそれを顔に出さず耐えてくるというときもあったと思います。でも、人がいるということは、それぞれ個性がある人たちが集まる中ですから、うまくそれを引っ張る力があるからこそ、館長さんがいるんだと思います。つらいこともあり、楽しいこともあり、そして、いろいろなことを自分が処理をしなければいけないという状態は、何年たっても同じだと思います。どんな人が来ても。ただ、人間ですから、5人であろうが、3人であろうが、館長を中心にしてみんなで楽しくやるのが大事だろうと思います。

もう一つは、例えば、部下が失敗したりするというのは、その人の問題もあるかもしれないけれども、もしかしたら指導の仕方がちょっと足りなかったかなという部分も、両面あると思うんですね。だから、それについては自分の腹の中に収めて、お互いが一緒になってやろうなという気持ちで東部公民館の皆さんはやってこられたなと思って、心より感謝します。

我々も、実際に委員長という責を負ったとしても、本当に私はそれがちゃんとやれているのかと、こんな顔をしていますけれども、心の中で悩んでいるときもございます。でも、やはり私も長年やらせていただいて感じているのは、短い時間でも、一つのことにみんなで集中して、そして、市民の皆さんが喜んでくれる、そして、集まってくれる、そういう活動が公民館の一番大事な仕事だと思っています。これは、松戸市長もそうなんですけれども、市民の皆さんの大勢の意見、そして、市役所に対する好感度、これは本庁の人たちには味わえないのが、現場である皆さんの力だと思っています。

今後も、そういう意味において、堂々と胸を張って、市民のためにも、私のためにも努力しているんだという気持ちで頑張ってもらいたいと思います。本当にありがとうございました。

○事務局（東部公民館長補佐）

ありがとうございました。

それでは、令和7年度第5回東部公民館運営審議会を開催いたします。

本日は、委員8名のうち、蠣崎委員から欠席の旨ご連絡をいただいでいて、7名の方に出席をいただいでおります。船橋市公民館条例施行規則第15条第3項の規定によりまし

て、半数以上の出席がございますので、この会議は成立しております。

また、会議の公開につきましては、船橋市情報公開条例第 26 条及び附属機関の会議の公開実施要綱の規定により、当審議会も原則公開となります。

本日は、運営審議会の傍聴希望はございませんでした。

それでは、議事の進行につきましては、船橋市公民館条例施行規則第 15 条第 2 項の規定により、委員長が議長となります。

大塚委員長、議事進行をお願いいたします。

○大塚委員長

それでは、「公民館事業報告（12/25～3/31）について」です。

まず初めに、東部公民館さん、お願いいたします。

○東部公民館長

東部公民館です。資料については 1 ページでございます。よろしくお願いいたします。

まず初めに、青少年の関係の「ハッピーサタデー事業」から始めます。1 月から 3 月にかけて、3 件のハッピーサタデー事業を開催いたしました。そのうち、2 月 21 日（土）に開催いたしました「子ども春まつり」についてお話しさせていただきます。

「子ども春まつり」は、例年 2 月のこの時分に、前原児童ホームにて開催している事業でございますが、今回は、前原児童ホームがちょうど改修事業で休館しており、東部公民館で初めて開催したところでございます。実行委員会形式で開催し、地域団体 12 団体の皆さん方のご協力をいただきまして、この東部公民館全館に遊びのコーナーを設けて、延べ参加人数 4,786 名ということで、当日天候にも恵まれまして、開催したところでございます。特に今回は、地下駐車場に模擬店をつくりました。フランクフルトや豚汁やたこせんをつくっていただき、子供たちや親子連れの皆さんには、模擬店の脇の食堂のコーナーで楽しみながら味わっていただいたところでございます。

それから、評価の中にも書いてありますが、このたび、日本大学理工学部の鉄道研究会の学生の皆さんにご協力をいただきまして、第 5・第 6 集会室にプラレールのコーナー、それから N ゲージのコーナーを設けまして、電車を走らせて、プラレールと N ゲージを敷き詰めて発表していただきました。N ゲージは、来館した子供たちに運転操作を体験させてあげたりということで、スケールの大きい鉄道模型のレイアウトを親子共々楽しめたのではないかと考えてございます。

その下の段、3 月 14 日の「お菓子作り」は「中止」と書かせていただきました。開催直前になりまして、講師のほうから体調不良ということで急な連絡が入ったものでございましたので、やむを得ず中止とさせていただきます。全参加者に連絡をして、ご了解を得たところでございます。

続きまして、下の「子ども日本語教室」につきましては、3 月 21 日の人数報告でございますが、19 名の参加をいただいたところでございます。

続きまして、次の2ページでございます。「心も体も喜ぶ健康体操教室」です。見出しはないのですが、これも3月21日(土)の人数について、34名の参加があったところでございます。

次の「デジタルデバインド対策事業」は、スマートフォンを使った講座でございます。3月24日(火)、2回目の講座につきましては、14名の参加で、「触っておぼえる!スマホの基本と防災の備え」というテーマで講義をしたところでございます。

続きまして、その下の段、「自宅にいながらリフレッシュ~オンラインでリラックスヨガ~」でございます。この講座につきましては、前年度に引き続きまして、自宅にいながらオンラインでヨガを体験できる講座を、前は3回だったのですが、好評をいただいて、お正月休みを挟んで12月から1月までの5回講座で、ヨガインストラクターのご指導をいただいて開催したものでございます。受講生の方にはもちろん高齢者の方もいらっしゃる中で、初回は、「聞こえない」、「映らない」といった連絡をいただきました。電話でのやり取りで見られるようになるまでには手間暇がかかったところではございますが、何とか参加者全員がご覧できるようになって、ヨガを楽しんでいただいたのかなと考えております。

評価の中にも書いてあるのですが、画面で見ながら指導というのも一つのメリットではございますが、一方で、「講師から直接指導を受けたい」という意見も寄せられているところでもございましたので、来年度以降、こういった講座の展開の中では、オンラインとこの会場で並行してもできるのかなと。開催方法については、現在検討しているところでございます。

続きまして、少し飛びますけれども、4ページの一番上の段、「ふなばしシルバーリハビリ体操教室」の一覧表の3月27日は明日でございますので、明日の開催の結果については、この資料をホームページに載せて、人数の報告をさせていただきたいと思っております。

続きまして、その下の段、「福寿大学」でございます。3月19日(木)には、「落語鑑賞会」を開催いたしました。三遊亭楽生さんにおいでいただきまして、楽しい愉快的な落語を皆さんに聞いていただきました。88名の参加があったところで、今年度の福寿大学、全10回が終了したところでございます。

続きまして、下の段、「シニアのための応援セミナー」でございます。この講座につきましては、1月から2月にかけて、全4回のシリーズで開催した事業でございます。ねらいの中で書いてありますとおり、第一線から仕事を離れた人がこれからよりよい人生を送るための応援セミナーとして位置づけているもので、1回目には相続のお話を聞いたり、体を使いながらボッチャを体験したり、おうちの中で気軽にできる体操のトレーニングを体験したり、最後は小松菜料理ということで、調理実習室を使って小松菜料理を味わいました。小松菜料理につきましては、船橋の特産ということもありまして、サバと小松

菜の甘辛煮、小松菜とエノキのあえ物、小松菜とシラスの混ぜご飯、小松菜とシメジのみそ汁、最後に小松菜スムージーということで、小松菜一色のお料理を味わっていただいた事業でございます。

この4回のシリーズは、いろいろなメニューでバラエティー豊かな講座でしたので、特に参加者同士のコミュニケーションが活発に行われた事業なのかなととても感じているところでございます。参加者同士でいろいろおしゃべりしながら、特に料理のときは、笑いながら、おしゃべりしながらということで、盛んに交流が行われて、充実した事業になったのかなとは思ってございます。

6ページでございます。下の段になりますが、「東部地区公民館5館合同事業」となっております講演会でございます。「『魔法のリノベ』漫画家が語る漫画と地元船橋とリノベーション」という講座を開催したものでございます。これは、船橋出身である漫画家の方のご講演でございます。事業計画のときにもお話をさせていただきましたが、漫画を出版されている方で、テレビでドラマとして放映されていたのを見た方もご参加いただきまして、「ドラマを見ていたので参加しました」と。「この話を聞いて、住まいのことに ついて、住みやすくするように考えていきたい」とか、「自宅の建て替えの参考になりました」とか、また、地元の方ですので、船橋小学校5・6年生のときのクラスメイトと仲間だったみたいで、「楽しいひとときでした」というところで、そういったご縁もあった話も伺っており、楽しく、ほとんどの方から「満足した講演会でした」という評価をいただいたところでございます。

最後でございます。7ページ、「地域ふれあいコンサート 懐かしの昭和歌謡から魅惑のジャズまで熟女ちんどん楽団『JJ じゃこウズ』の歌謡オンステージ」でございます。ふなばし音楽フェスティバルの一環として、開催したものでございます。

今申し上げた昭和歌謡ということで、懐かしい曲を演奏していただきました。親しみやすい曲ばかりということで、参加者からは、「聴いて口ずさむ曲で楽しかったですね」とか、「懐かしい曲なので、そのときの情景、あんなことがあったななんて思い出しながら音楽を聴かせていただきました」と。曲名を簡単に言うと、「テネシーワルツ」、「見上げてごらん夜の星を」、「青い山脈」、「三百六十五歩のマーチ」、「お祭りマンボ」などの曲を16曲演奏していただいたコンサートでございました。このコンサートは、地域の方のコンサート実行委員会の皆様のご協力をいただきながら、誰を呼ぼうとか、こうしよう、ああしようということで、いろいろと組み立てていただいて実現したコンサートでございました。このコンサートはまた引き続き進めていきたいと考えてございます。

東部公民館からは以上でございます。

○大塚委員長

次、お願いいたします。

○三田公民館長

三田公民館から引き続き事業報告をさせていただきます。

すみません、お手元に差し替えということで3枚ほどございます。両面刷りで、最後のページだけ片面になっていますが、そちらをご覧ください。

まず、青少年事業の「ふなばしハッピーサタデー事業」から、2月の「三田公民館子どもまつり」について報告をいたします。こちらは8ページになります。協力団体は、三田習地区老人クラブ連絡協議会、船橋市三山・田喜野井民生児童委員協議会、それから、東邦大学ボランティア部、アースドクターふなばし、三山児童ホーム、そして、今年度から新たに三田習地区青少年相談員さんにもご協力いただきました。

毎年不動の人気は、東邦大学ボランティア部によるスライムづくりと三田老協による紙飛行機でして、今年も好きな色のスライムを真剣につくる様子や、大変よく飛ぶ紙飛行機の折り方を教えてもらって、何度も飛ばして楽しむ様子が見られました。また、模擬店は、今年もボーイスカウト船橋第9団、ベーカリー&お菓子工房ろーずまりーに実施していただきまして、好評により、豚汁うどんは完売いたしました。来年度も楽しい企画を考えていきたいと思っております。

続きまして、成人対象事業になります。9ページの上から2つ目の講座、「多文化共生講座・ベトナム料理講座」を行いましたので、ご報告いたします。第三次船橋市生涯学習基本構想・推進計画のリーディングプロジェクトである共生社会実現のための国際交流の事業として行いました。ベトナムの国際交流員が講師となりまして、ベトナムの話を交えながら、生春巻きの調理実習を行いました。中に入れる野菜を細く切ったり、豚肉、エビ、ビーフンをそれぞれゆでたり、卵を焼いたり、割と工程が多かったのですが、それだけに、完成した充実感も大きかったと思います。試食をさせていただきましたが、大変おいしかったです。また、試食をしながらベトナム語の挨拶を教わりまして、交流する時間も取ることができました。ベトナム文化に触れるよい機会になったと思っております。

続きまして、高齢者対象事業です。10ページの上にごございます。「三田寿大学」の3月12日に実施しました「体操教室」について報告させていただきます。NHKテレビ・ラジオ体操でおなじみの多胡肇先生をお招きしまして、体操教室を行いました。7つの衰え、1つ目は筋力、2つ目が柔軟性、3つ目が骨、4つ目がバランス、5つ目が感覚機能、6つ目が血行不良、そして、7つ目に代謝というものがありますということで解説をいただきまして、それに対応するストレッチの体操や脳トレを行っていただきました。最後には、NHKでおなじみのテレビ体操を当時と同じように再現していただきまして、楽しく体操をして、令和7年度の最後を締めくくることができました。アンケートでも、「こんなに楽しく過ごせたのは初めて」、「来年もお願いします」などの感想がありまして、満足していただけたことがうかがえました。

この日は最終日でしたので、修了式も行いまして、今年度の皆勤賞は18名でした。この日に8年度のお申込みも開始したのですが、50名を超えるお申込みをいただいております。

まして、来年度も期待していただけていると感じております。

続きまして、その他の事業から、「バレンタインデーに贈ろう♪マカロン作り」についてご報告いたします。11 ページの中ほどでございます。こちらは新規事業となっております。バレンタインデー当日にチョコレート味のマカロンをつくる講座となっております。当日なので、すぐにプレゼントできるように簡単なラッピングも行いました。生地混ぜ加減、それから、火加減がとても難しいお菓子でしたが、皆さん思い思いの形の、かわいい、おいしいマカロンを完成させていました。

今回は、公民館の利用が少ない 10 代から 50 代の年齢層の方をターゲットにしておりまして、10 代から 20 代の方が 3 名、30 代から 40 代の方が 2 名、そして、50 代の方が 3 名の計 8 名で、10 名中 8 名の方が 50 代までの方ということで、目標を達成できたと思っております。また、初めて公民館を利用した方が 3 名いらっしゃいまして、公民館を知っていただくよい機会になったと思っております。また、申込みも、定員 12 名のところ 29 名のお申込みをいただきまして、マカロンづくりの人気の高さがうかがえました。三田公民館では倍以上の申込みはあまりなかったので、落選した方には申し訳なかったのですが、公民館としては喜んでおりました。

次に、「三田ふれあいコンサート」について報告いたします。11 ページ下から 12 ページの上にかけてでございます。昨年度は、三山市民センターの改修工事のため、三田公民館の体育レクリエーション室で実施いたしましたが、今年は改修が終わりましたので、三山市民センターで行いました。塚田のコックさん合唱団と、その講師をさせていただきます櫻井淳先生にお越しいただきました。塚田地区の男性料理クラブから生まれた合唱団で、コックさんの衣装で歌の出前をさせていただきました。力強い歌声とユーモアを交えたトークで、楽しいひとときになりました。また、テノール歌手の櫻井淳先生に 3 曲披露していただきまして、すばらしい歌声に会場は大いに盛り上がりました。アンケートでも大変満足度が高く、今後も続けていきたいと思っている事業です。

三田公民館の報告は以上となります。

○大塚委員長

ありがとうございました。

それでは、次に、習志野台公民館さん、お願いいたします。

○習志野台公民館長

習志野台公民館の事業報告をさせていただきます。習志野台公民館は、工事のため、13 ページのみとなっております。

成人の講座でございますが、「コーディネーター講座」です。こちらは、習志野台地区の生涯学習コーディネーターとの共催で企画から行っている事業でございます。こちらは 2 回の講座といたしまして、1 回目の 2 月 19 日は座学で深川について学んで、2 回目の 3 月 5 日に散策ということで、清澄庭園ですとか深川江戸資料館、あとは、周辺を散策

して戻ってくるという講座を実施いたしました。

アンケートを2回とも取ったのですけれども、1回目は「行くのが楽しみです」ということで、講師のお話から深く学んで、2回目は、散策が終わった後に、こちらアンケートを取りました。当初は取る予定はなかったのですけれども、オンラインで取ったところ、80%ぐらいの回答がありました。「先生のお話が面白い」、また、否定的というわけではないのですけれども、内容が濃かったので、「もうちょっと時間が欲しかった」というような意見もございましたが、参加者に大変好評でございました。講師の方が江戸東京博物館の学芸員で、東京といろいろな庭園に関しての専門家ですので、いろいろとお話が聞けたのではないかなと思っております。

一番下、その他の「子育てサロン」でございます。こちらの3月19日の参加者数ですが、当日は雨のため、外でしたので中止となりました。

習志野台公民館は、今、4月1日の工事終了後の開設に向けて準備しているところでございます。寿大学ですとかそういったものの受付は、全て4月1日からとなってしまいます。部分的ではございますけれども、トイレなどが新しくなったところで、皆さん、また来ていただければと考えております。

習志野台公民館からは以上でございます。

○大塚委員長

ありがとうございました。

では、引き続きまして、飯山満公民館さん、お願いいたします。

○飯山満公民館長

飯山満公民館です。令和7年12月25日から令和8年3月31日までの事業報告をさせていただきます。ページは14ページからになります。

まず初めに、青少年の事業として、「クラブ活動支援」、「二宮中学校職業講演会」、「ハッピーサタデー事業」を実施しました。

「クラブ活動支援」につきましては、吹き矢、ウクレレ、卓球と、月1回の学校のクラブ活動についてサークルさんに支援をしていただき、実施しております。来年度も吹き矢とウクレレの2団体は協力していただけるとのことですので、継続して実施いたします。

次に、「二宮中学校職業講演会」なのですが、こちらに書いてありますように、イラストレーターの森千章先生、スイーツアート作家の鵜澤愛先生を招いて、二宮中学校1年生を対象に職業について講演していただきました。お一人の方が二宮中学校出身ということもありまして、生徒たちは身近な先輩の体験として、聞き入りやすかったように感じております。

最後に、「ハッピーサタデー事業」については、「トランペットとサクスのコンサート」、「はさま子供まつり」です。子供まつりにつきましては、天気もよく盛況で、去年よりも参加者数が増えました。

次に、成人事業です。次ページです。「今日から始めよう！Dance with Music ♪」、「ビトさんに教わるボリビア家庭料理教室」を新規事業として実施しました。

「今日から始めよう！Dance with Music ♪」につきましては、大塚委員長にも見学をしていただきました。評価にも書いてあるように、月2回程度の健康ダンスサークルとして現在6名で新たなサークルを立ち上げることとなりました。年齢は60代の方が中心となっております。

次に、「ビトさんに教わるボリビア家庭料理教室」につきましては、中南米にあるボリビアのくらしや文化を知っていただくいい機会になったと考えております。評価にも書いてあるように、「ボリビアの国について、家庭料理を通して理解を深める機会になった」という感想をいただいております。

次に、「触っておぼえる！スマホの基本とキャッシュレス」の参加人数は15名でした。評価といたしましては、スマホの基本とキャッシュレスについて、講師が丁寧かつ的確に説明され、参加者から大変好評でありました。キャッシュレスのチャージ方法について、様々な方法を講義していただくと、より参加者に理解されると感じました。

次のページにまいります。16ページ、高齢者です。こちらにつきましては、「ふなばしシルバリーハビリ体操教室」、「飯山満寿大学」を実施しました。

寿大学の3月19日の参加者は68名でした。寿大学は、生涯学習コーディネーターと企画を出し合い、教養、音楽、健康、国際理解、娯楽と、幅広い内容の講座を提供いたしました。アンケート結果でも、「大変よかった」、「よかった」という感想をいただいております。おおむね好評だったことから、「高齢者が自分らしくそれぞれの生きがいを持ち、住み慣れた地域で健やかに暮らし続けられるよう交流・学習の場を提供し、地域社会への参加を促す」というねらいに沿った講座ができたと思っております。

次に、その他の事業として、「ゆびとま子育てサロン」、「本館家庭教育セミナー」を行いました。

「ゆびとま子育てサロン」は、広報の結果、昨年と比べて倍近くに参加者が増えています。

「本館家庭教育セミナー」は、12月に飯山満小学校で実施したあみちえ先生の「いのちの授業」を、飯山満南小学校でも実施し、人間の生まれる確率や命の大切さについて児童に真剣に考えてもらう機会となりました。

飯山満公民館からは以上となります。

○大塚委員長

次、お願いいたします。

○薬田台公民館長

薬田台公民館の当該期間に実施いたしました事業についてご報告いたします。

まず、青少年事業から、3月8日に実施いたしました「やくえんだい子どもまつり」に

ついてご報告いたします。「ハッピーサタデー推進事業」になります。この日は冷たい風が結構強く吹いていて寒かったのですが、来館者がすごく多くて、昨年も大人気であったろーずまりー販売のパンについては、開始から1時間待たずに完売でした。模擬店の青年相談員さんの焼そばとボーイさんのフランクフルトについては、駐車場を使用しての販売で、とても寒かったのですが、完売になるまで長蛇の列で、ほかの模擬店についても、昨年より数を増やして販売していただいたのですが、昼過ぎには全ての模擬店が完売になるほど大盛況でありました。また、各催しコーナーについても、待ちの列というのでしょうか、折り紙とかをやっていたのですけれども、長蛇の列ができており、廊下が混み合っていたので、次回は何か対応を考えなければいけないなと思っております。人数的には、4,579人の参加人数がありました。

次の「学社連携事業 クラブ活動支援事業」と成人の「スマートフォン講習会」については、記載のとおりとなっております。

高齢者対象の「やくえんだい福寿大学」になります。1月には、尺八と琴による「新春演奏会♪」を実施いたしました。尺八奏者の風間さんは、尺八の伝統を守りつつ、現代的な新しいジャンルに挑戦をしております、NHK やテレビ朝日のメディアにも多数出演している方です。また、琴の奏者の宇山さんについても、AI との融合など、独自のスタイルを確立し、精力的に活動をしていて、メディアはもちろんのこと、大阪・関西万博でソロパフォーマンスを行った演者さんです。2人とも若いのですけれども、2人の息がぴったりで、トークをすれば笑いを誘い、演奏ではダイナミックな力強さと繊細な優しい音色のギャップで、時間が過ぎるのを忘れるほどすばらしい時間でありました。

最後の2月は体操でした。演奏会などはすごく人が集まるのですけれども、そういったもの以外はなかなか人が集まらないかなと思っていたのですが、講堂全体を使用してちょうどいい密度になるぐらい、動きのスペースも確保できるほどでありました。空気を入れた浮き輪のような八の字型のベルというものと、ゴムひも、バンドのベルトを使って体操を行いました。音楽に合わせて、無理なく、高齢者でも体力に合わせて楽しみながら、遊びの要素を取り入れ、全身を動かす健康体操を行いました。参加者からは、「思ったより楽しかった」という意見をいただいております。

次の「ふなばしシルバーリハビリ体操教室」については、最後を明日行います。

次に、19 ページ、一番下です。「介護予防事業」ですが、昨年度同様、東京体育機器の方を講師に招いて、4回講座で開催いたしました。椅子に座りながら手や足を動かす体操をしたり、順番を覚えながら体操をするため脳を使ったり、また、「瀬戸の花嫁」に合わせながらの体操だったので、口ずさみながら行うなど、参加者も楽しみながら体と脳を活性化させておりました。みんな生き生きと楽しみながら運動しているので、継続して行うことで、介護予防のほかに仲間づくりや生きがい、地域交流にも寄与できると思いました。薬円台地域の高齢者の方には、いつまでも生き生きと元気にしてほしいな

と思っています。

最後に、「ふなばし音楽フェスティバル やくえんたい地域ふれあいコンサート」についてご報告いたします。こちらは申込みの段階からすごい状況で、窓口の受付は10時から、電話での受付は午後1時からとしておりましたが、午後の1時20分には定員いっぱいの200名になってしまいました。朝も早い人は8時半から並んでしまうなど、申込みの状況は非常によかったです。コンサート当日はあいにくの雪が降っておりまして、悪天候ではあったのですが、予想以上に来場者の方が多く、チェンバロやバロック・ヴァイオリンという珍しい楽器と、春日さんの透明感のある声が心地よく、癒やしの時間となっておりました。楽器の演奏だけではなく、歌や1人音楽劇など、観客を楽しませる多彩な工夫が凝らされており、大盛況のうちにコンサートを終えることができました。今後とも地域の方が気軽に楽しめる質の高いコンサートを企画していきたいと考えております。

薬円台公民館からは以上になります。

○大塚委員長

全館の館長さん、報告ありがとうございました。

全公民館さんからご説明をいただきました。委員の皆様は、ご質問またはご意見がございましたら、挙手をして発言をお願いいたします。いかがでしょうか。

○本間委員

最後だからしゃべっちゃおうかなと思って。

○大塚委員長

どうぞ、お願いします。

○本間委員

東部公民館の「ハッピーサタデー事業」でお菓子作りが突然中止になったときの材料というのは、もともと買ってあるんですか。

○東部公民館長

買う前でしたので。

○本間委員

ならいいのだけれども、そういうことは本当に大変かなと。急にやめるとなると、本当につらいなと感じていたので、どうかなと思いました。早めに分かったことはよかったですよね。

それから、これは全体に言わせていただきたいんですけども、毎回評価が必ず書いてあるので、チェックするときに、前はこうだったんだねということが分かるので、本当に助かっています。ありがとうございます。

それから、東部公民館のほうですけども、オンラインでやるリラックスヨガというのはやっぱり難しい。公民館に来てほしいなということもあるだろうし、参加している人もコミュニケーションを取りたいなということもあるし、そこが難しい。今後どうしていけ

ばいいのかということも考えなければいけないと思っています。

あと、全体に、ほかの施設もそうですけれども、土曜、日曜日に開催すると、参加の年齢層が変わってくるということで、児童館が一緒になっているところは厳しいですけれども、それ以外なら、少しずつ公民館はどういうところかという感じで、地域の人との交流の場になっていくのかなという感じは出てきているかなと。

反対に、全部で言いたいのは、いろいろなイベントをやるときの人材は、カルチャースクールだと結構お金を取られるんですけれども、これだけの人をお呼びすると1時間に何万円とか何十万円とか取られるような現状でやっていただけるのは、公民館を利用させていただく人からすれば本当にいいのかなと。私の市のほうは、まだ公民館に参加していないんですけれども、船橋はよくやっているなという気はします。本当によかったという感じはあります。

それから、人材を選ぶのは、誰かの情報とか何かがあるんですか。前にどこかでやったから、私のところもやりましょうというようなつながりですか。

○東部公民館長

今おっしゃるところもありますし、講師情報については、公民館職員がアンテナを張り巡らせて、こういった先生を呼んでみようとか、いろいろリサーチをしてお声がけをしてお呼びしているところがございます。

○本間委員

児童館で仕事をしていたときも、人を集めるのが本当に大変だった時期がありました。お金がないのに、誰を選ぼうかなというのもあるんです。

今回、いろいろな仕事の一つで、大和田猿さんと娘さんの美帆さんが、本当に1週間なんですけれども、それはテレビ朝日の関係でやっているの、お金は全然かからなかったの、本当に助かりました。児童養護施設の子供たちを見せたんだけど、ああいうときにお金はどれぐらいかかるのかなと思ったけれども、テレビ朝日はお金がいっぱいあるので、全部出してくれていたからよかったです。

これを見ていて、これだけ呼ぶとどれぐらい金がかかっているのかなと思いました。カルチャースクールだとお金が結構取られている。通っているんですけれども、自分で払わなければいけない現状があると思うと、本当に公民館の事業は安くて、ほぼただみたいなものなので、助かるなと思うんだけど、だんだん年を取ってくると行けなくなってしまう。足もあまりよくなって。だから、それをいかに行けるように、できるようにするか。やってみたいから、バリアフリーとかいろいろ考えていただけると。座っていてもできる体操というものもあるじゃないですか。テレビでやっているの、それは私は椅子と一緒にやっています。そういうやり方の人たちに来ていただくと、私も参加できるかなと思いつつ読みかせていただきました。

ちょっと分からないのはシニアさんと老人さんと、シニアの年齢層というのは何かあ

るんですか。60歳以上がシニアさんですか。

○東部公民館長

特に定義はないですけども、おおむね60歳以上ということでご案内しているところでございます。

○本間委員

老人というと、70、80歳ぐらいの人が行くのかということがあって。昨日もその話をして、「『老人』という言葉が嫌ね」、「ネーミングを変えてよ」とかいっておしゃべりしていたんですけども、ああいうネーミングは本当に難しいなという感じです。

今AIが本当に進んで、公民館が一生懸命いっぱいやって、学校もAIで授業が始まるようになってきている。

○今井委員

はい、4月から。

○本間委員

実際に新しいAIを入れていただいているのを見ていると、本当にすごいなと思って、感心して見ていました。それに私も参加できるように頑張っていきたいなという気がします。ぜひぜひ今後もそういうことを考えて。いろいろなことを考えてやっていただけたということは、私は本当に感謝しています。

それぐらいですかね。材料が気になっていました。

あともう一つ、薬田台のほうですけども、今地域で子供が少ない中で、季節の行事や伝統芸能、近所でおみこしを担いでいこうねというのも全然見られないような現状になっているから、ぜひこういうことをどんどんやっていって継承していかないと、本当に日本の伝統芸能が駄目になってしまうのかなとこの頃感じています。私はお神輿は背負えないけれども、子供の時代から、伝統芸能というかそういうのをどんどんやっていただくことがいいのかなという気はしています。今も地方だと本当に人がいないから、大変な感じでやっておりますけれども、東京都内の下町のお祭りなんて大人もいないので、ほかの市から担ぎたい人を募集しておみこしをやっています。私はお神輿を見るのが好きなので、昔は行っていたんですけど。だから、そういうのを残していただいただけだと、すごくいいのかなという感じです。新しいものも必要、昔からの伝統のものも必要という感じでやっていかないと、日本もおかしくなってしまうから。

○大塚委員長

そのとおりですね。

○本間委員

そうですね。その中で、お神輿とか太鼓をやると、お年寄りの方と若い子とのコミュニケーションも取れる。それから、いろいろなことを知ることもできるし、年寄りも若い子の知識をもらうこともできる。そういうことを今やっていかないと、衰退していつし

まう。田舎、地方は大変。過疎化しているのです。ぜひぜひ都会でもちゃんとやっていけるようにして、伝統芸能が位置づけられるといいかなと思います。薬円台だと太鼓があるものね。あそこはすごいなと思っていますので、ぜひぜひ児童館でやっていただきたいなと思っています。

以上です。それぐらいです。

○大塚委員長

大変的確なお話をいただきまして、本当にありがとうございました。

委員の皆様、ご質問等はほかにございませんでしょうか。

お願いします。

○牧野委員

三田公民館さんの成人の「はじめての資産運用」は、20名のところ3名だった理由は広報が間に合わなかったと書いてありますけれども、3名さんはどんな方だったんですか。

○三田公民館長

3名の方は40代から60代ぐらいの方で、お一人の方は、こういったことを今まで考えたことがなかったので、初めてということで聞きに来ましたという方、60代ぐらいの方は、もう既に始めていらっしゃったようなのですけれども、さらに学びたいような形で来られた方で、3名ですね。

○牧野委員

その方たちはどのように調べたんですかね。

○三田公民館長

ホームページにも載せておりますので、そちらと、あとは公民館をご利用で、チラシを閲覧になった方になります。

○牧野委員

分かりました。

○大塚委員長

はい、どうぞ。

○舟橋副委員長

最近、どこの公民館だったかな、「生成AIで遊ぼう」というのがあって、どこでしたかね。

○飯山満公民館長

飯山満の寿大学です。

○舟橋副委員長

寿大学で、演奏会を聴いたり、落語を聞いたりする中で、「生成AIで遊ぼう」というのはどういうふうに行ったのかなというのが気になりました。

○飯山満公民館長

職員が講師になって、参加者からいただいたキーワードをもとに AI を使って飯山満寿大学の歌の作詞をしたり、その歌詞に音楽をつけるような遊び感覚で AI をみなさんと一緒に体験しました。

○舟橋副委員長

AI というのはパソコンですか。

○飯山満公民館長

パソコンですね。

○舟橋副委員長

今、AI とか、それから NISA とか、そういったついていけないものがどんどん増えてきている。だから、スマホとかも各公民館さんでやっていらっしゃいますけれども、そういうのも若い子たちはすごく早くどんどん受け入れてできるんですけども、私くらいになるとついていけなくなるので、AI とか NISA とかスマホの使い方とかを、もうちょっと分かりやすくする事業がこれからもっと必要になるのかなというのがあります。

それから、最近銀行が紙の通帳をやめて、ウェブでしか見られなくなる。2026 年、今年度の秋ぐらいからどんどんそうくなっていくんですけども、そういうのにだんだんついていけなくなるし、もっと年配の方で、紙の通帳しか、ATM を使わずに窓口でしかやっていない方とか、そういう方が増える中で、これから自分自身も心配になるなというのがあるので、スマートフォンの使い方とか、AI の取組とか、そういうのをどんどんつけていってほしいなと思いました。本当によく分からない時代で、ついていけなくなってしまっている。そういうのをまた公民館さんでもやっていただけたらと思います。

○大塚委員長

ほか、よろしいでしょうか。

お願いします。

○加瀬委員

東部公民館さんの今年の「子ども春まつり」はここで開催されたんですけども、これは児童ホームさんが改修工事だからですか。

○東部公民館長

そうです。

○加瀬委員

来年はまた元に戻りますか。

○東部公民館長

それについては、こちらでやるメリットも当然あると思っておりますので、その辺の検証を今しているところでございます。

○加瀬委員

児童ホームさんのほうが子供が集まるんだよね。よく4,000人も来たと思って。向こうに行く前はしばらくここでやっていたんですよ。あまりにも人数が少ないので、子供たちが来るのに遠いせいもあるのかなと思うんですよ。向こうへ行くと、たしかいつも6,000人を超えますでしょう。児童ホームさんだと。

○東部公民館長

今は数字まではあれですけども。

○加瀬委員

多分6,000人を超えていると思うんですよ。だから、よく4,700人も子供が集まったと思うんだけど。どちらでやっていただいても。前原地区社協は参加しなかったでしょう。

○東部公民館長

そうですね。

○加瀬委員

向こうなら何とかやることもできたかなと思うんだけど。これはまた児童ホームさんと検討してください。

○東部公民館長

はい、ありがとうございます。

ここで開催する中で心配したのは、車の通りも多い立地ですので、子供が自転車で来るというところでは多少心配なところもありました。前原児童ホームのときには、後ろの道路を通行止めにして模擬店とかを開催していました。交通事情についても昨今いろいろな問題も出てきた中で、そういったところも含めて総合的に検証して、どちらでやるかというのは検討していきたいと思っています。ありがとうございます。

○舟橋副委員長

その中のNゲージとかはすごく場所を取りますよね。

○大塚委員長

講堂ぐらいのね。

○加瀬委員

向こうではできないよね。

○舟橋副委員長

ですよ。ここだからできたので、すごくよかったと思うんですけども、今度前原児童ホームに行ったら、Nゲージとかそういうのはできないのかなと思いました。

○東部公民館長

スペース的な問題も出てくるでしょうし、児童ホームは靴を脱いで入る施設なので、入退館のときにそこら辺がごった返すなど、懸念材料もいろいろあるので、どっちもどっちで、メリット、デメリット、両方あるものですから、整理して検討していきたいと思って

ございます。

○舟橋副委員長

でっかいNケージとプラレールがあったらいいなと思いました。

○大塚委員長

あと、ご意見はよろしゅうございますか。

お願いいたします。

○今井委員

AIですけれども、確かに学校でAIを授業等で使っていいのが、来月、4月からなんです。ただ、まだ職員の研修がそこまで進んでいない。先進的に取り組んでいる学校だと、飯山満中とかがかなり進んでいて、その先生で、逆に教員を辞めて企業に行ってしまった方もいるんですけれども、講師と呼べると思うんです。

そういうAIを活用する力、スキルもそうですけれども、あと、その中でフェイクニュースにだまされないとか。災害があると誤情報がいっぱい流れるので、子供たちには関東大震災の時の話もするんですけれども、そういうのを見抜く力、情報リテラシーとか、そういうものも必要だと思います。

逆に、そういうデジタルの勉強も必要だけれども、コロナ禍から子供たちのコミュニケーション能力がかなり落ちているので、講師の方で企業に勤めている方がソーシャルスキルトレーニングをやってくれるとか。職業講演会で中学校ではお世話になってはいますが、小学校のうちからそういうのもあるといいかなと、小学校にも勤めていたんですけれども、思うことがあります。自分でも、高校に勤めているときに、JALの方やキャビンアテンダントの人など、すごくマナーや人の接し方を極めている方を呼んでやったり、あるいは教育機関の人を呼んだりもしましたけれども、そういうアナログとデジタルの両方をやれるといいかなと。

お年寄り向けに、詐欺被害に遭わないように、AIを使ってもこういう言葉がおかしいよとか、よくニュースでやっていますけれども、あってもいいかもしれないし、子供向けには、子供たちはそういうのが得意だから、逆にアナログのものを年配の方や経験豊かな企業の方などに教えていただけると、両方いいのかなというふうに今聞いていて思いました。

○大塚委員長

ありがとうございました。

どうでしょうか、皆さん。よくご理解いただけましたでしょうか。次に移らせていただいてよろしゅうございましょうか。

それでは、公民館事業報告12月25日から3月31日までについて採決をとらせていただきます。

東部ブロック公民館の事業報告につきまして、ご承認いただける方は挙手をお願い

たします。

(全員挙手)

○大塚委員長

ありがとうございました。全員挙手をいただきました。各公民館からの事業報告について、ご承認をいただきました。

続きまして次第(2)の「令和7年度公民館目玉事業評価シート」について、東部公民館長から順次、説明をお願いします。

委員のみなさんのご意見は全公民館からの説明を受けてから頂戴いたします。

それでは、東部公民館からお願いします。

○東部公民館長

東部公民館の目玉事業からお話をさせていただきます。資料については、20ページの次のページからつづられている部分でございます。

東部公民館の目玉事業としては、5月に開催いたしました「リニューアルオープン記念 秦由加子氏講演会」でございます。まず、事業の位置づけについては、船橋市生涯学習基本構想・推進計画(ふなばし一番星プラン)の中で、先導的に取り組む事業として、「『共生社会』実現のための取組の充実」が掲げられている中で、私どもは、秦由加子さんの講演会を開催しました。共生社会の実現という中で、地域の皆さんとともに、お互い障害者の方との共通理解を深める機会ということで開催いたしました。

ちょうど開催時期の5月は、東部公民館の改修工事が終わった開館直後といったタイミングで、パラリンピックの出場選手で千葉県出身のアスリートというご縁もあったものですから、日程がちょうど合いましたので、5月18日に秦さんにおいでいただきまして、4階の講堂で、これまでのアスリートとしての道のりや目標、夢、こういったものを生の声で地域の皆さんに伝える機会を設けたものでございます。

評価でございますが、アスリートの声を聞きたいという10代から80代の幅広い参加をいただいた中で、自転車競技アスリートとしてのこれまでの取組、パラリンピック選手としての体験談、そういった貴重な生の声を伺うことができたということで、参加者はこの競技に対する知識や理解を深めることができたのかなど。また、この講演を聞いている中で、参加者の皆さんに、このアスリートはこんなに頑張っているんだ、今後もこの選手を応援していきたいなという気持ちが芽生えてきた雰囲気を感じ取ることができたのかなど思っております。

講堂の中で、参加者からの声援、「頑張れよ」という声が伝わったのか、実は5月のこの講演会の後、翌月の6月にイタリアのターラントというところでワールドシリーズがあつて、秦由加子さんが優勝されたんですね。アジアトライアスロンパラ選手権(千葉シティトライアスロン)が10月にあったのですが、そこでも銀メダルを取られていて、こういった優勝とかすばらしい成績を収めているということもその後お伺いすることがあ

りました。

こういう講演会を通して、ただ単に講演者から参加者へ一方通行の講演ではなくて、講堂の中で参加者からも応援メッセージをいただきました。それだけのおかげではないですけども、そういった交流が図られた中で、こういった成績につながったのかなというような思いも持ちました。なので、こういった取組は、冒頭に申し上げた共生社会の実現の中で、お互いに理解し合う、お互いに応援し合う、こういった心の交流が図られた事業になったのかなと思っているところでございまして、こういった共生社会の実現のための障害者との交流事業については、今後も引き続き続けていきたい事業として考えているところでございます。

以上でございます。

○大塚委員長

ありがとうございました。

続きまして、三田公民館さん、ご説明をお願いいたします。

○三田公民館長

三田公民館の令和7年度の目玉事業についてお話をさせていただきます。

20代から50代の公民館の利用が少ないという課題がございまして、それに対応する講座ということで、若い世代に人気のあるカリンバという楽器を体験できる講座を行いました。両手で持って親指で弾く楽器なのですけれども、とてもお手軽で、高くても4,000円ぐらいで買えるような楽器ですので、いろいろな方に体験してもらえたらという気持ちもありまして、開催いたしました。

初めてカリンバに触れる方が多かったですけれども、「かえるのうた」と「きらきら星」を2回の講座で弾けるようになったり、また、輪唱演奏や合奏を班ごとに練習して行うことで、参加者同士のコミュニケーションも取ることができました。初めて公民館を利用した方、それから、30代から50代の方の参加もありまして、公民館を知っていただくよい機会になったと思っております。

また、サークル化をしているいろいろな方に継続していただきたいと思っていたのですが、サークル化はすることができませんでした。ただ、今後もカリンバを続けていきたいという声が聞かれまして、後日楽器を購入したという方の報告もありました。参加者の次につながる成果にも、微力ですがなったのではないかなと思っております。

三田公民館からは以上です。

○大塚委員長

ありがとうございました。

それでは、習志野台公民館さん、お願いいたします。

○習志野台公民館長

習志野台公民館の目玉事業の評価をご説明させていただきます。

リカレント教育ということで、「パーソナルカラー診断&眉毛の描き方講座」を開催いたしました。習志野台公民館が工事で休館中でしたので、会場は坪井公民館をお借りして、坪井公民館の事業担当者の方と仕事を分けながら、共催ということで開催いたしました。

全2回でございまして、初回は、個人に似合うパーソナルカラー診断を講師が一人一人に行っていて、また、診断結果を基に自分に似合うカラーのリップをつくる講座を開催しました。2回目は、眉毛の描き方ということで、私はよく分かりませんが、顔の印象を大きく左右する眉毛の描き方を学んだようでございます。

こちらは定員が12名でしたが、60名以上の応募があつて、30代から50代をメインターゲットに考えておりましたが、7割ぐらいでございました。抽選した結果も、やはり6〜7割が30代から50代の参加となっております。

先ほどお話ししたように、講師が初回にパーソナルカラー診断を一人一人に行うために、参加者としては12名が限界ではございますが、みんなが参加できるように講師も工夫していただきながら、皆さん一人一人やっているところで、その色は似合う、似合わないというようなお話もされておりました。

また、坪井公民館と共催で行いました。来年度は、坪井公民館単館で親子で楽しむようなそういう講座も同じ先生で行うということをお聞きしておりますので、事業の幅がどんどん広がっていけばいいのかな、ほかの公民館にも波及していけばいいかなというところで、評価とさせていただきます。

習志野台公民館は以上でございます。

○大塚委員長

ありがとうございました。

では、続きまして、飯山満公民館さん、お願いいたします。

○飯山満公民館長

飯山満公民館の目玉事業として、「パパママもハッピーサタデー」という事業を実施いたしました。こちらは、ふなばしハッピーサタデーと同時開催し、子育てから離れ、自分の時間を持つことで、新たな趣味を楽しんだり、保護者同士の親睦を深める機会とするねらいで実施いたしました。

1回目は親子それぞれ別室でアート体験をした後、合流して鑑賞会を行いました。2回目はハロウィンのカップケーキを作っている間に子供たちはダンスを練習し、最後に発表&撮影会を行いました。3回目はクリスマスのマクラメタペストリー作りで、その間に子供たちがカレーとラッシーを作り、お昼に親子でランチパーティーをしました。こちらにつきましては、幼児を対象に保育も用意しておりましたので、小さい子供のお母さんたちやお父さんたちにも参加していただける事業となっております。

こちらの事業の評価につきましては、同じ日に2つの事業を行いますので、どうしても

職員の負担が大きくなります。飯山満公民館は地区館なので、土曜日は職員が3人しかおりませんので、そちらの負担が大きくなりました。職員の事情が解消できれば、もう少し実施したいなという気持ちでおります。

飯山満公民館からは以上です。

○大塚委員長

ご苦労さまでした。ありがとうございました。

次に、薬円台公民館さん、お願いいたします。

○薬円台公民館長

薬円台公民館の目玉事業は、「やくえんだい楽学講座」になります。こちらは4講座を行いました。1回目が36名、2回目32名、3回目は27名、4回目は公開コンサートです。119名の参加となりました。8名の企画委員の人が検討を重ねて、様々な内容の学習を通して学ぶことの楽しさを知る教養講座を企画しております。

1回目の講座の「紅茶のふるさと南インドを旅する&紅茶試飲」については、映像で南インドの茶畑の説明をした後、紅茶3種類の試飲、あとは、先生が紅茶に合うクッキーも用意してくれています。

そのほかには、文藝春秋の元常務の方の「私が出会った心に残る作家たち」という講話というのでしょうか。あとは、10年に一度の大規模自然環境調査という環境部が行っているものなのですけれども、アプリを使用して参加するという企画を実施いたしました。

最終の4回目の「馬頭琴のレクチャーコンサート」では、まずスライドでモンゴルの紹介を行った後、楽器の演奏に入りました。前回もお話しさせていただいていますけれども、自然を身近に感じるような雄大なコンサートでありました。

参加者からは、「4回ともそれぞれ特徴があって楽しかったです」、「いろいろなジャンルのお話や体験ができてとてもよかったです」など、どの講座も好評でありました。今後も地域住民の楽しい交流の場となるよう、心躍るような企画をしていきたいと思っております。

薬円台公民館からは以上になります。

○大塚委員長

ありがとうございました。ご苦労さまでした。

全館の目玉事業について、各館長さんから評価シートのお話をいただきました。

それでは、委員の皆さん、ご質問、ご意見がございましたらお願いいたします。いかがでしょうか。

お願いします。

○吉田委員

三田公民館のカリンバというのはどんな楽器なんですか。

○三田公民館長

すみません、今日持ってくればよかったのですが、お弁当箱ぐらいの大きさの板にキーが並んでおりまして、お弁当箱みたいなものを持って、キーがこうなっているところを親指ではじいて、真ん中からドレミファソラシドと広がっていくタイプの楽器になっています。なので、スライドするとドミソとかレファラという和音もすぐに弾けるような、簡単な楽器になっています。結構今人気で、4,000 円出せば立派な楽器が買えるような、そういう楽器です。

○吉田委員

値段が安いとか言っていたから。

○三田公民館長

そうですね。

○大塚委員長

楽器屋さんとかに行くと分かるんだけど、一般的にはそうあるものではないというところもあるので。

○三田公民館長

最近ちょっと置き始めた楽器店も出てきています。

○吉田委員

全然知らなかった。すみません。

○本間委員

この続きだけでも、最初は 14 人いて、その次、2 回目は 8 名になっている。

○三田公民館長

ちょっと減ってしまったのですが、都合がつかなくなりましたということで来られない方が。1 回目は見えていたのですけれども、遠方の方もいらっしやいまして。

○本間委員

楽器は先生がお持ちになって。

○三田公民館長

はい。「おてがるカリンバ協会」というところの認定講師の先生で、おてがるカリンバ協会というのが姫路にあるのですけれども、その協会が無料で講師に全員分貸出しをしてくださるので、皆さんで無料で貸し出してもらったもので弾きました。その後購入した方もいたというような状況でした。

○本間委員

ピアノと違ってうるさくないからいいよね。

○三田公民館長

そうですね。小さな音なので。

○本間委員

その続きで、薬円台のほうでいいですか。馬頭琴の先生はどちらからお呼びしたんです

か。

○薬田台公民館長

今日は資料を持ってきていなくて。

○本間委員

実はモンゴルのほうにちょっと用があって、学校とかに行きました。さっきの伝承芸能ではないですけども、馬頭琴は、ゲルに入って、モンゴル人、現地の方は常に弾いているからいいですけども、中学校の授業参観をしたときに、中学生なんかプロぐらいの馬頭琴をやっているぐらいでした。これは本当に大事だなと思いながら行ってきました。なかなか弾けるような馬頭琴はなくて、行って、遊び用に、飾る用には自分で買ってきたけれども、弾いていないです。そういう感じで、やっぱり昔からモンゴルで使っている方たちの伝承的なことは本当に大事だなと思いながら見せていただきました。

両国の辺りに数人ぐらい、モンゴル人がやっている食堂というか、人がいるみたいだけれども、なかなかいい楽器なので、みんなに聴いてもらいたいなという気はありました。

○大塚委員長

馬頭琴はなかなか聴く機会がないんですね。

○本間委員

そうなんです。津軽三味線ではないけれども、沖縄の三線にしても、そういうのはなかなかチャンスがないし、特に馬頭琴なんか「えっ？」という感じなんだけれども、それもいいチャンスだった。百何人も来ているというからすごいなと。

○薬田台公民館長

そうですね。モンゴルの方ではなかったのですけれども。

○本間委員

日本人がやっているんだ。

○薬田台公民館長

はい、日本の方です。美炎（みほ）という、美しいに炎という字だったでしょうか。

○本間委員

こっちに在住している人かな。

○薬田台公民館長

日本人の方だと。

○本間委員

向こうの人ではないんだ。

○薬田台公民館長

ではないですね。

○牧野委員

ホーミーはなかったですか。モンゴルの歌い方で、1人の人が2つの声で。それはなか

ったですか。

○薬田台公民館長

ないです。

○本間委員

結構キーの高い声を出してやるんだけど、楽器自体を知らない人が多い。

○大塚委員長

そうですね。今は、馬頭琴といっても、形が分からないというのものもあるから。

○薬田台公民館長

柄のところは馬になって。

○牧野委員

「スーホの白い馬」ですね。

○大塚委員長

長くなるからこの辺で。申し訳ないんですけど。

○本間委員

日本人だったんだ。向こうの人かと思った。ありがとうございます。

○大塚委員長

あとは、ご質問の方、ございませんか。

それでは、公民館目玉事業評価シートについて、採決をとらせていただきます。

東部ブロック公民館目玉事業評価シートにつきまして、ご承認いただける方は挙手をお願いいたします。

(全員挙手)

○大塚委員長

ありがとうございました。全員挙手をいただきました。各公民館からの公民館目玉事業シートについて、ご承認をいただきました。

傍聴人の方は今日はいないですね。

○事務局（東部公民館長補佐）

はい。

— 非公開審議 —

議題(3)社会教育関係団体の拠点変更（報告）についての審議は、船橋市情報公開条例第7条の不開示情報を審議することから、同条例第26条第2号に該当するため非公開となります。

また、非公開審議であるため、船橋市附属機関等の会議の公開実施要綱第8条第3号の規定に基づき、記載を省略します。

議題(3) 社会教育関係団体の拠点変更（報告）について 承認

○大塚委員長

続きまして、次第(4)「その他」になりますが、事務局から連絡事項はありますか。

○事務局(東部公民館長補佐)

本日のご審議、皆様ありがとうございました。令和7年度全5回、最後の審議となります。本当に皆様お疲れさまでした。

次回のご案内となりますが、委嘱式等がございます。本日ご参加の委員は、次回継続の方も継続ではない方もご出席いただいておりますが、次回のご案内を簡単にさせていただきます。

令和8年4月30日(木)、東部公民館の4階の講堂で、14時から公民館運営審議会委員委嘱状交付式を行わせていただきます。その後、15時から、ここと同じ会場で、東部公民館の運営審議会を開催していくこととなります。

委員長、私のほうからは以上です。

○大塚委員長

8年の4月30日、14時から講堂で運審の委嘱と、15時から運営審議会をやるということですのでよろしいですね。

○事務局(東部公民館長補佐)

はい。よろしく願いいたします。

○加瀬委員

これは、今まで役所でやっていたやつを、中央が使えないからここでやるということですか。

○東部公民館長

そうですね。中央公民館が改修工事なので、あまり移動も皆さんにご負担をかけないように。会場は東部公民館の各部屋ですから、1つの会場ごとで狭くはなりますけれども。

○大塚委員長

いいんじゃないですか。

○東部公民館長

あと、もう一件、昨日で船橋市議会が閉会をいたしました。数ある議案の中で、皆さんに関わる議案が1件可決されました。報酬に関する議案でございます。委員報酬については、これまで9,800円ということで条例上規定されているところでございました。改正条例案ですと、1万3,000円でございます。1万3,000円にアップされる議案が昨日可決され、8年度の委員報酬については1万3,000円に改正されますので、お伝え申し上げたいと思います。また来年度もよろしく願いいたします。

○大塚委員長

それはありがたいですけれども、市役所が厳しいと言っていたよ。今度松戸さんに会ったら言ってやろう。

○東部公民館長

以上でございます。

○大塚委員長

それでは、事務局さん、ほかにないですね。

○事務局（東部公民館長補佐）

はい。大丈夫でございます。

○大塚委員長

ありがとうございました。

これをもちまして、令和7年度第5回東部公民館運営審議会を閉会いたします。大変お疲れさまでした。ありがとうございました。

午後4時44分閉会